

第12回 伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会 「2カ年」の成果から伝統構法を再び考える

「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会」が、平成20年度から2カ年間で行った成果を題材にして、伝統構法の可能性と課題を探ります。

上記の委員会は、初年度に兵庫県のEディフェンスで伝統的構法による2棟の実物大の震動台実験、2年度目には壁要素を取り除いた架構体の静加力実験を行いました。また、設計の実務で活用できるデータの作成を目的として、各軸組部や接合部など多数の要素実験を行い、要素から全体を組み立てる体系的な検証を行いつつありました。しかし、昨年度後半に検討方針の大転換があり、今年度からは新たな委員会が組織されました。

しかし、実務者にとっては、過去2カ年の成果がどうであったのか、また、現時点で活用できるものがあるのかなど、伝えられていないことも多いはずです。

伝統的構法を探るスタートとなった前の委員会での2カ年の成果が「建築技術」誌上で、2ヶ月に分けて特集されます。今回は、委員会のまと役でもあった大橋教授に話を聞き、実務者が求めている伝統構法の可能性を再び考えてみたいと思います。



【日 時】平成22年 12月18日(土) 13:30~16:30 (開場 13:00)

【会 場】埼玉建産連研修センター 3階大ホール (埼玉県さいたま市南区鹿手袋4丁目1-7)

【講 師】大橋 好光 教授 東京都市大学工学部建築学科

【定 員】180名 (申込順、定員になり次第締切)

【参加費】①3,600円 (テキスト月刊建築技術12月号<12/1発行>を含みます)

②2,000円 (テキストはご持参ください)

【申込・問合せ】これ木連事務局

(NPO日本民家再生協会内 担当: 金井)

TEL: 03-5216-3541 FAX: 03-5216-3542

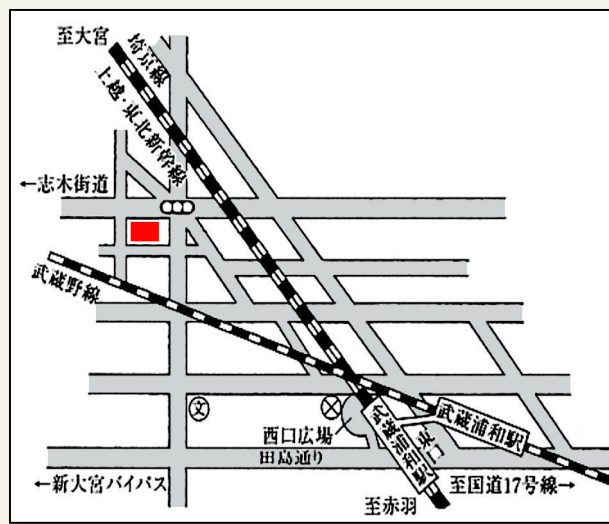
Eメール: koremoku@e-mail.jp

【締 切】12月13日(月)

参加者1名ごとに、氏名、所属、電話、
ファクス、メールアドレス、およびテキスト
の必要の有無、部数を必ず明記ください。

【主 催】これからの木造住宅を考える連絡会

財団法人住宅産業研修財団 優良工務店の会
職人がつくる木の家ネット
NPO伝統木構造の会
有限責任中間法人 日本曳家協会
NPO日本民家再生協会
NPO緑の列島ネットワーク



【交通】JR武蔵野線・JR埼京線「武蔵浦和駅」下車、徒歩10分

■講師プロフィール

大橋 好光 教授



1954 年生まれ。

83 年に東京大学大学院博士課程修了。同大学助手を経て、2000 年に熊本県立大学助教授。05 年から東京都市大学工学部建築学科教授。

国土交通省伝統的構法の設計法及び性能検証実験実施委員会主査（平成 20～21 年度）として伝統木造を建築基準法に位置づけるための性能確認、設計法構築の検討を行う。

申し込み

（メール申し込みの場合は下記内容を koremoku@e-mail.jp まで）

◆連続講座「伝統構法を考える勉強会」

第12回 伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会

「2ヵ年」の成果から伝統構法を再び考えるに参加します。

①	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
②	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
③	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	

テキスト（月刊建築技術 12 月号） ・ 必要 （ 部 ） ・ 不要（自分で用意します）

FAX 03-5216-3542